

教育ニュース

2022. 11. 2
VOL.10

10月28日(金)レベルⅣ研修「ディベート」を実施しました

テーマ「日本は積極的安楽死を 法的に認めるべきである。是か非か」

研修生は研修当日までにそれぞれ情報を集め、チームとしてどのような立論をするのか話し合いました。また反対尋問の内容を予想しながら準備を進めてきました。

肯定チーム



肯定チームの主張

患者の意思の尊重と、苦痛緩和のためにルールを決めて法的に認めてもよいのではないかと。そのためのプランを6点考えてきた。

その1割の患者さんの苦痛を何とかしたい。ガイドラインに沿った意思決定支援を行い、一つの選択として積極的安楽死があればいいと思う。

緩和医療の進歩により患者の9割が苦痛がとれる。積極的安楽死は必要ないのでは

否定チームの主張

殺人罪や自殺ほう助、同意殺人罪等に刑法に反する行為である。また医師等が制度を悪用したり、家族からの圧力が生まれるのではないかと。



否定チーム

OJTのお願い

研修生はディベートを通して、論理的視点で発言するために最新の社会・医療情勢を知ることの必要性を理解することができました。また論理的視点で自身の意見を発言することの難しさを実感しました。今後、この学びを活かし、多職種カンファレンスの司会を実施してほしいと研修生に伝えました。リーダーシップをとって問題提起、対策の提案と根拠をもったが発言できているかを看護師長、副看護師長が確認しフィードバックをしてください。